

山の手だより

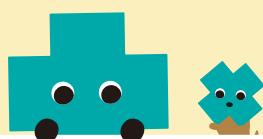
No.
23



独立行政法人国立病院機構北海道医療センター病棟等新築整備工事

北側から見た鳥瞰イメージ図(新病棟・教室等、体育館棟)

今般、機能移転に係る基本計画を作成し、国立病院機構八雲病院の機能を国立病院機構北海道医療センター及び国立病院機構函館病院に、機能移転する時期は「平成32年8月目途」となりました。



TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

| | | |
|-------------------------------------|--------------------|----|
| 卷頭言「改めてのご挨拶」 | 北海道医療センター事務部長 田村 優 | 2P |
| 平成30年 新入職員歓迎会 | 新入職員歓迎会 事務局 定塚 祥大 | 3P |
| 看護週間イベントを開催して | | 4P |
| インフォメーション | 診療科のご案内 | |
| 薬剤部業務のご案内 | 薬剤部長 内山 英二 | 6P |
| 臨床工学室～より安心・安全な医療を目指して～主任臨床工学技士 阿部 渉 | | 7P |
| いきいき三角山フェスタ開催決定のお知らせ | | 8P |

23号目次

まいにちから、
まんいちまで。

北海道医療センター
事務部長 田村 優

改めてのご挨拶

今年4月から事務部長として赴任してきました田村と申します。タイトルを「改めてのご挨拶」とさせていただきましたのは、平成22年3月1日に旧西札幌病院と旧札幌南病院の統合とともに、新たに救命救急センターなどの機能が付与されて開院した北海道医療センターの前年4月から3年間、旧西札幌病院及び北海道医療センターで企画課長として在職していたからです。

当時は毎日が慌ただしく、開院前は無事開院できるのか、開院後はスムーズに運営していくのかと不安な日々を過ごしながら業務に取り組んでいたことが、懐かしさとともに走馬燈のように思い浮かばれるところです。そんな当院も今年で9年目を迎え、これもひとえに、地域の皆様方及び医療機関関係者の皆様方のご理解とご協力のたまものと改めて感謝深く感じているところです。

さて、世間ではサッカーワールドカップのロシア大会が開催されており、マスコミも連日お祭り騒ぎであるかのように報道されています。日本代表も大方の予想を覆して(よい方向に)、見事予選リーグを2位で突破して決勝トーナメント進出を決めました。同率2位でアフリカ代表のセネガルと並びましたが、最終的に順位を決めたのは「フェアプレーポイント(警告や退場者数を基準として計算)」、要するに反則数の少なさであり、いかにも日本らしいなと思ったのは私だけではなかったと思っています。日本人が持っている誠実さであったり、真面目さであったりが、「フェアプレーポイント」として結果として評価されたことは大変うれしく感じました。また、現地で観戦された日本人サポーターが勝敗に関係なく試合後に自主的に行っているスタジアムのゴミ拾いも、全世界のマスコミから報道され、賞賛されていることも同様です。ワールドカップはまだ終わっていませんが、この出来事は私自身改めて考えさせられる良い機会(場面)でもありました。

話は戻りますが、当院は7月24日(火)、25日(水)に公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を初めて受診する予定です。この病院機能評価というものは、当院の運営体制全般を多項目にわたって多角的な視点から評価されるものであり、これはまさしく、当院の日頃からの病院運営に対する誠実さや真面目さが試される、ある意味試験となります。また、今回の評価基準は、札幌市内では初めて適用されるバージョンである一般病院2(3rdG:Ver2.0)とのことであり、受審に向けて全職員一丸となって取り組んでいるところです。当院の理念・基本方針を全職員が今一度肝に銘じ、受審当日を迎える所存です。

これからも、地域の皆様方及び医療機関関係者の皆様方から愛される病院を目指して、日々頑張っていきたいと思っていますので、引き続いてのご理解とご協力をよろしくお願いします。

平成30年 北海道医療センター 新入職員歓迎会

新入職員歓迎会 事務局 定塚祥大

5月31日に平成30年北海道医療センター新入職員歓迎会がホテルヤマチにて開催されました。

少し緊張した面持ちの新入職員、懐かしい仲間に出会えた異動職員。それぞれの表情がありました。この瞬間は仕事を忘れ、ホテルのおいしい食事に舌鼓を打ちました。

また、職員全員が職場外で顔を合わせる機会は少なく、大変有意義な時間にもなったと思います。

今まで以上に進化を遂げる北海道医療センターを盛り上げるために、職員が一丸となって、幾多の難題に立ち向かっていかねばなりません。向かうべき方向は決して平坦な道のりではありませんが、北海道医療センターには『人財』という資産があります。新たな仲間を大切な『人財』に育て、北海道医療センターの強みとなっていく事を目指しましょう。

『今年、北海道医療センターはこの仲間で頑張っていきます。』



北海道医療センターのfacebookページができました!



国立病院機構北海道医療センター



いいね!をよろしくお願いします♪

「看護週間」イベントを開催して

平成30年度の「看護週間」の取り組みとして
～育もう看護の心～ をテーマに院内外においてイベントを開催しました。



院外イベント

副看護師長 八谷有香

5月10日(木)イオンモール札幌発寒において、市民向けに健康診断、健康相談、一次救命処置体験を行い、233名の方が来場されました。健康診断では血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定、骨密度測定を実施しました。特に血管年齢測定や骨密度測定は普段なかなか測定できないこともあり、とても人気がありました。また、健康診断の結果をもとに健康相談を行ったほか、認定看護師によるがん相談や認知症相談も行いました。一次救命処置体験では子どもから大人までたくさんの方に救命処置を体験して頂くことができました。参加者した方々からは、「初めての体験で色々測定してもらい良かった。」「血圧など知ることができて良かった」などの感想が寄せられました。

院外でイベントを開催することで、多くの方に「看護の日」「当院の魅力・役割」を知ってもらう機会となりました。ご協力・ご参加頂いた方々ありがとうございました。



ふれあい看護体験

副看護師長 大西由果

5月10日(木)「ふれあい看護体験」を開催し、札幌市内3校から19名の高校生に参加いただきました。

病棟で看護師の指導見守りの下、高校生同士での血圧測定や車椅子・ストレッチャー乗車体験、患者さんへの足浴・手浴などを実際に行いました。最初は緊張した面持ちで恐る恐る実践していましたが、看護師が患者さんとコミュニケーションをとる姿を見て、患者さんへ声をかけることもできました。意見交換会では、「看護師の患者さんとの会話や接しているところを実際に見ることができて、コミュニケーション技術や何人もの患者さんを見ていることがすごいと思った。」、「看護師になりたい気持ちが強くなつた。」等の感想を聞くことが出来ました。



短い時間ではありましたが、高校生に看護の楽しさ・素晴らしさを実感してもらう事ができ、私たちにとっても初心を思い出す貴重な体験となりました。

院内川柳コンテスト

副看護師長 猪狩泰子

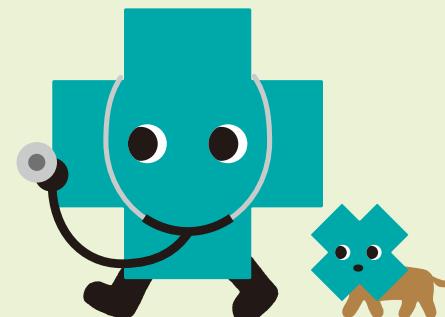
看護の日イベントとして初めて「川柳コンテスト」を開催しました。患者様やご家族、職員より「健康および看護に関する」川柳を募集し、予想を上回る67作品が寄せられ、5月9日～5月24日の期間外来ホールに掲示し、来院した患者様、ご家族の方々にご披露致しました。前向きに治療に取り組まれている自身の想いやご家族を思いやる皆様のいろいろな気持ちがこもった川柳は、それぞれの情景がすっと浮かび、ほっこりとした気持ちになりました。また、日頃の看護に対する作品ではユーモアを交えながらの温かいお言葉に励まされ、私たちも元気をいただきました。

皆様からのたくさんのご応募、心から感謝いたします。ありがとうございました。



診療科

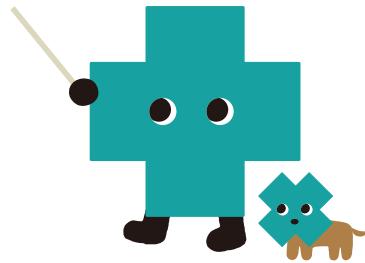
INFORMATON



薬剤部業務のご案内

薬剤部長 内山 英二

当院薬剤部では、17名の薬剤師が一丸となり、医薬品に関する専門性を発揮し、より有効で安心・安全な薬物療法に貢献しています。ここでは薬剤部の業務の一部をご紹介いたします。



調剤業務

医師の処方箋に基づき、お薬をつくる業務です。お薬の量、使い方などに問題がないか確認し、取り揃えます。また必要に応じて、錠剤を粉碎して粉薬にしたり、服用するタイミングごとに1回分ずつまとめる(一包化)など、飲みやすくする工夫も行っています。



↑一包化されたお薬
←粉薬の軽量



↑高カロリー輸液の無菌調製

抗がん剤：安全に使用するために、抗がん剤が環境中に漏れ出ないような設備を用いて調製しています。

高カロリー輸液：食事が摂れない方のための点滴で、細菌を入れないことが重要なため、無菌的な環境で調製を行い、より安全なお薬を提供しています。

院内製剤：患者様の病状に合わせて市販のお薬を加工したり、医薬品原料を使って市販されていないお薬や検査用薬を作っています。

病棟業務

持参薬鑑別：入院時に持参されたお薬を一覧表にして、入院中に使うお薬との飲み合せを確認するなど、治療に役立てています。



服薬指導：入院患者様のベッドサイドでお薬の説明を行い、不安や疑問と一緒に解消します。またお話を伺う中で、効果や副作用など症状の変化をチェックし、医師や看護師と情報を共有してチーム医療を推進しています。

医薬品管理業務

お薬の在庫や品質の管理をします。温度や湿度は勿論のこと、法令に基づいて厳正な管理が必要なお薬もあります。



↑端末を使っての在庫管理

医薬品情報(DI)業務

お薬に関する最新情報を収集し、わかりやすく加工して院内のスタッフに提供します。ニュースとして発信するほか、お薬に関する様々な質問にも対応しています。

知って得する！お薬のはなし

残ったお薬、どうしていますか？：使い切らなかつたお薬が、受診の度に処方されどんどん増えていく…お薬もお金ももったいないですよね。そんな時は調剤薬局に相談してみましょう。残数に合わせて調整することができます。

お薬手帳、何冊使っていますか？：最初だけ使っているものが何冊もある…なんてことはありませんか。お薬手帳は健康を守る大切な情報源です。他の医療機関で同じ薬が出てしまうのを防ぐためにも一冊にまとめましょう。今使っているお薬が一目でわかると、急な入院や災害の際も役立ちます。



臨床工学室 ～より安心・安全な医療を目指して～

主任臨床工学技士 阿部 渉

臨床工学技士は生命維持管理装置(人工呼吸器、人工心肺、人工腎臓など)を中心とした高度医療機器を医師の指示の下で操作、管理を行う医学と工学の両面を兼ね備えた医療専門職でCE(Clinical Engineer)やME(Medical Engineer)と呼ばれています。

当院では、**臨床技術提供・医療機器管理・安全教育(研修)**の3つの柱を業務とし、医療機器の専門家、チーム医療の一員としてより安心・安全な医療を患者様にご提供することを目指し、日夜業務を遂行しています。業務を行う場所は、救命救急センター・ICU・手術室・透析室・血管造影室・外来・病棟・MEセンター(中央医療機器管理室)など様々です。臨床技術提供、医療機器管理の業務を24時間オンコール体制で対応し救急医療に携わっています。

1 臨 床 技 術 提 供

人工呼吸器、人工心肺、補助循環、心臓ペースメーカー、心臓カテーテル検査・治療関連、人工腎臓・各種血液浄化関連などの呼吸・循環・代謝に関する生命維持管理装置や治療・診断装置の操作、管理を行っています。

2 医 療 機 器 管 理

生命維持管理装置や様々な医療機器が安全及び効率的に使用できるようそれぞれの機種に合わせ中央管理化や使用前・後点検(日常点検)、使用中点検、定期点検、修理・トラブル対応などの保守管理を行っています。

3 安 全 教 育 (研 修)

医療機器が適正且つ安全に使用できるように機器の原理・構造や正しい取り扱い方法、トラブル対応などの研修会を他職種と連携して計画し開催しています。

その他、知識・技術の向上のため各種認定資格を積極的に取得し、患者様に安全で質の高い医療技術をご提供できるよう日々自己研鑽に努めています。



■発行所 / 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター
■発行責任者 / 事務部長 田村 優
■発行日 2018年7月

第6回
いきいき

三角山フェスタ

9/1(土)

開 決
催 定

第6回 いきいき三角山フェスタが開催決定!
例年調剤体験や縫合手技・気管挿管体験など
人気企画が今年も盛りだくさん!

会場 当院外来ホール

時間 10時~14時



人気の企画が盛りだくさん!

まいにちから、
まんいちまで。

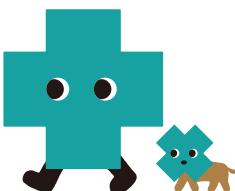


独立行政法人 国立病院機構

北海道医療センター



TEL 011-611-8111



〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号



<http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc/>

北海道医療センター

検索

●交通のご案内

地下鉄東西線
西28丁目

循環西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線
宮の沢駅

JRバス 西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線
琴似駅

JRバス 琴43 西野中橋線 北海道医療センター前 下車

JR 琴似駅

タクシーご利用の場合

○JR琴似駅より 約1,200円前後

○地下鉄琴似駅より 約1,000円前後

車で

旭川・苫小牧方面より自動車ご利用の場合

札樽自動車道新川インターチェンジから
新琴似通り経由、山の手通り沿い

小樽・余市方面より自動車ご利用の場合

札樽自動車道札幌西インターチェンジから
北5条手稲通り、新琴似通り経由、山の手通り沿い

札幌市西区山の手5条7丁目1-1
電話(011)611-8111 / FAX(011)611-5820
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc>